

Q&A しげん ごみと資源のなぜ？に答えます！

なぜ1 なぜ？
ごみと資源を
分けるのですか。

答え
ごみと資源を分けてごみを減らすと、燃やしたり、うめ立てたりするごみが少なくなります。ふじさわ市では、新しくうめ立て地を作る場所がないので、うめ立て地を長く使うためにごみを減らすひつようがあります。また、資源やエネルギーを使う量が少なくなるので、自然かんきょうへのえいきょうが少なくなります。

なぜ2 ごみを減らすには
どうすれば
いいですか。

答え
家庭で出るごみを減らすには、ごみと資源を分けることが一番大きな方法ですが、生ごみの水切りや生ごみしり機を使うことでも減らすことができます。買い物に行くときには、エコバッグなどを使って、お店のレジぶくろをことわる事や、いらないものは買わない・大事にして長く使うなどでごみを出さないことも大切です。



なぜ9 プラスチック製容器包装
を出す際に、二重袋（小
さ目のポリ袋やレジ袋など
に「プラスチック製容器包装」
を入れる出し方）
で出さないようになって
いますが、なぜですか？

答え
プラスチック製容器包装は、リサイクル業者に引きわたす時に袋がやぶれていることが、決められています。二重袋だと、うまく袋をやぶくことが出来ず、よごれた物などを取りのぞくことが出来ないためです。



なぜ10 ダンボールや新聞・
本など同じ紙なのに、
なぜ分けるのですか。

答え
紙のしゅるいによって、リサイクルする品物かわります。ほかの紙がまざっているとリサイクルできなくなるものもあるので、分けてもらっています。

なぜ11 雨がふった日に
出してはいけないも
のはなんですか。

答え
衣類は、雨にぬれるとカビが生えたりしてリサイクルすることができなくなってしまう。また、シュレッターした紙は、ちらかってしまうと道路にくっついて取れなくなってしまう事があるので、出さないでください。



古布は雑手などにもリサイクルされます



なぜ3 1日にどれくらいのごみを集めていますか？

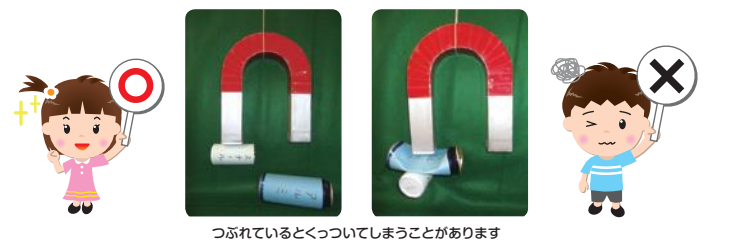
答え
ふじさわ市では、1日に約350トン（観光バス約30台分の重さ）の家庭ごみを収集車約110台で集めています。



ふじさわ市のごみ収集車

なぜ4 なぜ？ カンは、
つぶしては
いけないのですか。

答え
カンは、スチールカンとアルミカンでリサイクルする品物かわります。カンは、工場で大きな磁石を使ってスチールとアルミを分けていますが、つぶされているとスチールカンとアルミ缶が混ざって分けられなくなるので、つぶさないで出してください。



つぶれているとくっついてしまうことがあります

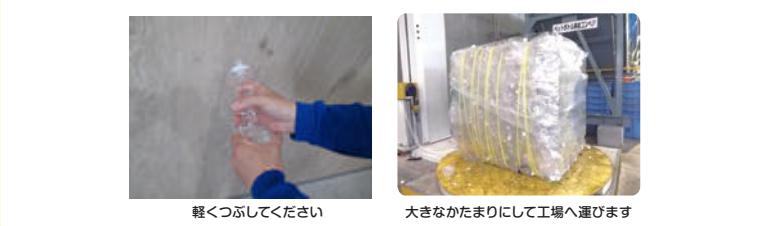
なぜ5 カンは、
何にリサイクル
されてますか。

答え
スチールカンは、新しいスチールカンや、建物や橋などの鉄になっています。アルミカンは、新しいアルミカンや、自動車の部品などにリサイクルされています。



なぜ6 なぜ？ ペットボトルは、
つぶして出すのですか。

答え
ペットボトルは、軽くてとてもかさばりますが、つぶすと小さくなって、収集車にたくさん入れることができます。転んだりすることもあるので、むずかしい時はやらなくてもいいです。



なぜ14 てんぷら油は、
何にリサイクル
されますか。

答え
てんぷら油は、リサイクル工場へ運ばれたあと、バイオディーゼル燃料としてジェット機に使われたり、インクや家畜の飼料（鶏・牛などの餌）の原りょうとして使われています。



なぜ15 ごみを出すときに
気をつけることは
ありますか。

答え
木ねんごみの中に入れてはいけない物があります。電池類、ライターやスプレーカンは、木ねんごみといっしょに入れてしまうと、収集車の中で火災になったり、工場で爆発したりしますので、分けて出してください。



なぜ7 ペットボトルは、
何にリサイクル
されますか。

答え
今は、ふじさわ市で集めたペットボトルは、ペットボトルにリサイクルされていますが、少し前までは、半分がペットボトル、半分が卵のパック・食品トレーやジャンパー・シャツなどにリサイクルされていました。



なぜ8 プラスチック製容器包装
と商品プラスチックは、
何がちがうのですか。

答え
プラスチック製容器包装は、写真のように商品を包んでいる容器や包みのことです。商品プラスチックは、写真のように洗面器やハンガーなどの商品のことです。同じプラスチック類ですが、リサイクルする品物かわりますので分けてもらっています。



なぜ16 うめたて地は
いつまで使えますか。

答え
ふじさわ市のうめたて地は、2007年ごろにはいっぱいになる予定でしたが、みんなでごみと資源を分けているので2043年ごろまで使える予定になっています。1年でも長く使うために、これからもごみと資源を分けるようにおねがいします。

